

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【公開番号】特開 2005-87595 (P2005-87595A)
 【公開日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-014
 【出願番号】特願 2003-327604 (P2003-327604)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B	6/00	3 0 0 X
A 6 1 B	6/00	3 0 0 D
A 6 1 B	6/00	3 0 0 S

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 7 月 25 日 (2006.7.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被検体を載せるテーブルと、前記テーブルに載せられた前記被検体に対して X 線を照射する X 線照射手段と、前記 X 線照射手段に対して前記被検体を挟んで相対向して配置され、前記被検体を透過した X 線透過像を検出する X 線透過像検出手段と、X 線透過像検出手段に接続され、前記 X 線透過像検出手段を X 線照射方向に移動する X 線照射方向移動手段と、前記 X 線照射手段と前記 X 線透過像検出手段とを接続し支持する、略半円形状の C アームからなる支持手段と、前記 X 線透過像検出手段により得られた X 線透過像を基に画像処理を行い、X 線透視撮影画像を表示する表示手段とを備えた X 線透視撮影装置において、前記 X 線照射方向移動手段は、複数個の断面の大きさの異なる筒を軸を平行にして重ねあわせたものと、前記複数個の筒の互いの重ね合わせ面をスライドさせるスライド手段を備え、前記 C アームの外側の円弧より内側に設けられたことを特徴とする X 線透視撮影装置。

【請求項 2】

前記 X 線照射方向移動手段は、前記スライド手段は各筒の繰り出しを常に同一量で行うことを特徴とする請求項 1 に記載の X 線透視撮影装置。

【請求項 3】

前記 X 線透過像検出手段を X 線の照射する方向と垂直な方向にスライド移動させる X 線と垂直方向スライド移動手段を備えたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の X 線透視撮影装置。

【請求項 4】

前記 X 線透過像検出手段は、X 線平面検出器であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の X 線透視撮影装置。